

大地

四日市市立西陵中学校 第2学年 学年通信

第 39 号

2008. 9. 19

文章責任者 学年主任 味村貴志

頑張っています！体育祭のとりくみ！



あいにくの雨で体育祭が22日に延期になりました。2日間の休みをはさみますが、月曜日には好天の中、2年生がこれまでのとりくみの成果を十分に発揮してくれることと思っています。

先週から始まった体育祭のとりくみ、2年生は期待通り学年競技「みんなでジャンプ」を中心に一生懸命とりくみを始めました。回し手を決め、並び方を工夫し、何度も失敗しながら話し合っては、また挑戦を繰り返しています。今年は細かいルールを室長会が中心となって生徒自身が考

えました。一つは「クラス全員」で跳ぶことです。当たり前のことですが、人数が多くなる方がより困難になる競技です。それでも「全員で跳ぶことの意義」をみんなが大切にしてこの方法に決めました。そしてこの意義を確認しながら毎日のとりくみをしています。もう一つのルールは合計5回を跳んで、その中で一番多く跳んだ回数で勝敗を決めるというものです。一発逆転が可能なので最後まで気が抜けない展開になります。

そしてもう一つの団体種目「全員リレー」の方もバトンタッチの練習を中心に熱心にとりくんできました。これらのとりくみを通してクラスの力を伸ばしていくことが体育祭の目的でしたが、その成果はすでに随所に現れてきています。これからも各担任が発行する「学級通信」や「お知らせボード」（西陵中学校ホームページ内）で、少しずつクラスや学年が進歩し、その中で一人ひとりが成長していく様子をできるだけタイムリーに伝えていきたいと思えます。ぜひご覧下さい。

職場体験のとりくみが始まりました

1年生の時に「職業調べ」のとりくみを行いました。2年生では、進路学習の一環として「職場体験」を行ないます。今年度の日程は12月4日（木）5日（金）の2日間です。

8日の学年集会で、まず職場体験の目的や今後の流れをパワーポイントを使って説明し、その後、教室に戻って「自分の希望職種」を書いて提出しました。昨日は、これを集計したものが発表され、最初に学年集会で説明を聞いた後、同じ職種を希望するメンバーで集まってグループを作り、体験先を決定し、電話をどのようにかけるかのシナリオづくりを始めました。

今後は30日にそれぞれ実際に体験希望先に電話をかけ、許可を受けたグループは、そこでしばらく活動が休止になりますが、希望先が決まらない場合は、放課後の時間などを利用して決まるまで様々なところを探して電話をしていくこととなります。全グループの体験先が決定したら、11月中に一度体験先に行って当日の打合せをし、これに基づいて当日の体験をしていくこととなります。また、職場体験当日は、自転車や公共交通機関を利用して「自分の力で通勤する」ように指導しています。その点もお知りおき下さい。



【現在の希望職種】

図書館（2名） スイミングスクール（4名） 小学校（2名） PC関係（4名）
保育園（11名） 菓子製造・販売（6名） コンビニ・スーパー（9名） ペットショップ（2名）
園芸・農業（1名） 車関係（1名） 飲食店（6名） 建築関係（1名） 病院・福祉施設（1名）
ガソリンスタンド（3名） 茶農協（3名） 市民センター（2名） 本屋（10名）

「七千万個の地雷」の授業を終えて



先週の道徳は教科書教材「七千万個の地雷」を学習しました。教科書の本文は、たった2ページで、右側にはタイトルと「地雷によって左手を失った子供の写真」が大きく中央に掲載され、左のページには地雷の被害に遭った人々が「大人」であったか「子供」であったかの内訳のグラフと被害に遭った子供がその時に何をしていたかのグラフの2つが掲載されているだけのシンプルな教材ですが心に訴えるものは果てしなく強く強い内容でした。

最初に「写真を見て感じたこと」を簡単にまとめ、その後、「どうして地雷が設置されたのか」「どんな地雷が何を目的として設置されているのか」について、それぞれ、担任からの説明を聞きました。その後、10分のメッセージビデオを観ました。自分たちよりも幼い可愛い子供たちの写真、家族や友達と楽しそうに過ごす子供たちの写真が流れます。場面が変わり、ものすごい数の地雷と弾薬…足を失った人…瓦礫の中で生活する人々…そして、その合間を縫うように流れるメッセージ…その内容は、平和で豊かな生活をしている自分たちの心を揺さぶります。真剣に見入る2年生。ビデオを見終わって、最後の感想をまとめる時は、全員がシーンと静まり、黙々と手を動かしていました。授業後も「涙が止まらなかった」「泣きそうで危なかった」「何かできることはないのだろうか」などと話している姿があちこちで見られました。本当にみんなが心を揺さぶられ、自分の生き方についても考えた時間となりました。

次の日に行われた室長会（体育祭の練習打合せ）では、この授業のことが話題になり、「何かできることはないだろうか」と書いている人が多いことを取り上げ、学年で何かのとりくみをしていくことを呼びかけることになりました。そして2回目の学年練習の最後に以下のような呼びかけがなされました。

～昨日、どっちのクラスも地雷の授業（道徳）を受けたことと思います。その感想の中に「何か私達に出来ることを見つけてやっていきたい」というものがけっこうありました。そこで学年のとりくみとして、みんなで考えて、世界中の大変な目にあっている子どもたちのために何かをやっていきたいと思うのですが、どうですか？～

この呼びかけが大多数の賛成で承認され、体育祭後に具体的な内容を決めてとりくんでいくことになりました。室長会では、現在「自分たちの手で進められる、お金をかけないとりくみ」を検討中です。このとりくみを通して、さらに生徒たちの真っ直ぐな気持ちと学年の力が育っていくように指導、支援をしていきたいと思っています。



今後のJUT（総合的な学習の時間）について

発表されてからかなりの時間が経過していますので、すでにご存知の方も多いと思いますが、平成24年度より「学習指導要領」（国が定める各教科で教える内容）が新しくなります。これに伴って「教育課程」（どの学年でどの教科の授業を何時間実施するか）も変化します。そして平成24年度に「完全に移行」するまでの措置として、来年度より少しずつ教育課程が変わっていきます。

現2年生に関わる部分では、3年生になる来年度（平成21年度）に理科が現在の「前期3時間後期2時間」から「通年3時間」に増え、JUT（総合的な学習の時間）が「前期3時間後期2時間」から「通年2時間」に減ります。

全体としては、平成24年度には現在の「選択教科」がすべての学年でなくなり、総合的な学習の時間も減り、教科学習の時間が増えていくとイメージして下さい。

このことを受けて、長らく本校で取り組んできたJUTの「プロジェクト学習」（2年生以降に「地域」を題材に自分の取り組むテーマを決め、グループで課題解決学習を進めていく方法）を続行することが難しくなりました。そこで、「プロジェクト学習」は現在の3年生で終了し、現2年生以降はそれぞれの学年の学期単位でテーマを決めて学習していく「ユニット学習」に方向転換していくことにしました。現2年生については、2年2学期（現在）では「人権学習」、3学期は「進路学習」、3年1学期は「修学旅行に伴う様々な学習」、2学期以降は「人権学習」と「進路学習」の両方を進めていく計画でいます。詳しくは、次号以降でお知らせいたします。